

# 桜坂から



ここに立って空を見ていた 雲がそっと流れていった  
 遙か阿讃の山眺めて 夢に出会う瞬間(トキ)を待ってる  
 ぼくはぼくで迷わずこの道を進む それはいつも振り返れば すぐそばに君がいて 微笑んでいるから  
 桜坂から見上げた朝日に 青い空 光る風 果てしなく続くよ  
 君の言葉に勇気をもらった 何気ない毎日を大切に生きよう

春川で一番通いたい学校に

ここに立って海を見ていた 風の声がふっと聞こえた ぼくは何を探し求めて 唐渡の丘を登るんだらう  
 君の白い自転車 色褪せたけれど ふざけ合った時間さえも まぶしくてきらめいて 輝いているから  
 桜坂からこぼれる笑顔に 今日もまた新しい思い出を刻んで  
 季節は巡って繰り返されても 暖かい陽だまりはそこにずっとあるのさ



ぼくはきっと見つける 揺るぎない明日を  
 背中押してくれた君に いつの日かこの場所で 約束をするから  
 桜坂から羽ばたくぼくらに かなわない夢なんて何一つないのさ  
 おはよう さよなら ありがとう ごめんね  
 入学も卒業もこの桜坂から [作詞・曲 宮脇 啓]

Handwritten musical score for the song "Sakurazaka kara". The score is written on ten staves in 4/4 time. The lyrics are written below the notes, and chords are indicated above the staff. The lyrics are:

ここにたつて空をみていた 雲がそっとながれていった  
 はるかあさんのやまながめて ゆめにであうときをまってる ぼくは  
 ぼくで迷わず この道をすすむ それは  
 いつもふりかえれば すぐそばに君がいてほほえんでいるから  
 さくらがからから みあげたあまひにあお  
 いそらわかるかぜは 果てしなくつづくよ  
 きみのことは に ゆうきをこぼした なに  
 げないまいにちを たいせつにいきよう